

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことのは4号館Jr.		
○保護者評価実施期間	対象保護者無し		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日 ~ 令和8年1月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者の相談を受け、助言をしたり申し送り時に丁寧な活動報告が出来る事。	対面又はメッセージアプリを活用し申し送りを行い、活動の状況が伝わりやすい表現や児童の成長した面を伝えることができる。保護者からの質問や相談があった際は職員間で共有や話し合いをして助言を行うようにしている。	・職員が保護者対応が柔軟に対応できるように、保護者対応の研修や職員間での共有する時間を大切にしたい。
2	・様々な職種の職員がいる事。	・言語聴覚士・理学療法士・保育士・児童指導員が在籍しており様々な視点で療育に関わる事ができる。	・ご家庭や学校での困り感を色々な視点から意見を出し合い児童に合わせた療育ができる様にしていく。
3	・職員の人数を多めに配置する事で子ども達に充実した支援を行う事ができる。	・子ども達の気持ちに寄り添いながら、一人一人の気持ちを引き出しながら主体的な取組みができるようにしている。	・子ども達の特性を理解を深めたり、職員間で情報交換を行いやすくして支援の強化を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・対象児童なし。就学児童を療育するには環境設定が必要。	・未就学の利用児童は多数在籍しているが、放課後デイの児童がいない。	・今年度開所、契約児童に就学児童がいない。「就学児童を療育するには環境設定が必要」という意見が出たため今後利用に応じて設定していく。
2	・地域交流を深めていきたい	放課後等デイサービスの児童がいない為地域の児童と交流が行えていない。	・定期的に屋外活動の時間を設定して、地域児童との交流する場を設ける。
3	・事業所職員から「部屋の割り方や環境整備が必要なところがある」「児童がクールダウンできる個室が欲しい」と声があった。	・施設基準は満たしているが建物の構造上、部屋がひらけた作りになっており児童同士の距離が近いことでお互いの特性の違いによる対応が難しくなることがある。	・現在の対策として1階、2階のフロアで分けて療育したり個別に散歩で気分転換促進し対応をしている。 ・今後パーテーションを導入し机上訓練やクールダウンできる空間の確保をしていければと思う。